
会 告

公益社団法人 日本設計工学会 九州支部 技術セミナー
「機械系新入社員のヒューマンスキル育成とその基礎事項としての改正 JIS 製図規格」

日時：2019年8月26日（月）13時～17時

会場：九州大学 大橋キャンパス 3号館 321教室

福岡市南区塩原 4-9-1

アクセス・キャンパスマップ <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ohashi/>

内容：以下について、実例を含めた詳細な解説や事例の紹介を頂きます。設計に関する教育および実務に携わる皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- ・企業におけるヒューマンスキル向上のための研修内容と人材育成の方法および今後の課題
- ・設計・製図において主要である機械製図 JIS B 0001 の改正，寸法公差 JIS B 00010401 の改正および JIS B 0420 の制定での要点や適切な利用のための注意点

プログラム：

(1) 13時10分～14時10分 [60分]

題目：企業における新入社員研修の一事例

講師：株式会社アルトナー ヒューマンリソース事業本部
喜瀬 晋 氏

(2) 14時20分～15時30分 [70分]

題目：改正規格と新規格における寸法公差の取り扱い

講師：東京都市大学 名誉教授
平野重雄氏

(3) 15時40分～16時50分 [70分]

題目：JIS B 0001:2019 機械製図の改正点と新規の項目を概観する

講師：東京都市大学 名誉教授
平野重雄氏

申込み先・方法：「jsde 九州支部 技術セミナー参加」と題記し，下記本会九州支部宛にメールでお申込みください。

e-mail: kyushu@jsde.or.jp

申込み締切：2019年8月10日（土）

備考：セミナー後の情報交換会を計画中です。

最新情報は，九州支部 WEB ページ <http://www.jsde.or.jp/kyushu/> をご覧ください。

講演の概要

13時10分～14時10分（60分）

題目：企業における新入社員研修の一事例

講師：株式会社アルトナー ヒューマンリソース事業本部

喜瀬 晋氏

概要：弊社は新入社員に対する顧客ニーズの調査を毎年実施することで、研修カリキュラムを構築し独自の研修方法で新入社員に研修を行っている。特に人間力（ヒューマンスキル）を向上させるための研修内容と人材育成の方法及び今後の課題を述べる。

14時20分～15時30分

題目：改正規格と新規格における寸法公差の取り扱い

講師：東京都市大学 名誉教授

平野 重雄氏

概要：長年に亘り産業界・教育界でなんら問題もなく使用されてきた寸法公差に関する規格、JIS B 0401-1:1998 寸法公差及びはめあいの方式-第1部：公差、寸法差及びはめあいの基礎が、JIS B 0401-1,-2：2016に改正され、JIS B 0420-1:2016が新たに制定された。改正・制定されて3年が経過しているにも関わらず両規格の誤りの部分を正すことがなされていない。

産業界では、寸法公差やはめあいのような基本規格は、社内規格などに同化されているので、間違った用語や公差原理の勘違い及び難解な文章があっても、実質的な影響はほとんどない。一方、教育界は、間違った用語であっても、従順に従うことが必定となっているのでその影響は問題となる。教員は、学生に間違ったことを教えるはならない。ここで、間違いとは、規格の基本となる「公理」といえるような「定義が明確で議論の余地がないもの」の間違いをいう。そこで、技術的内容は、両規格とも旧規格と同じであるが、文章が難解であるうえ、用語の薄弱な理由による誤訳、誤用などについて、そして、独立の原則とテーラーの原理から乖離していることなど関係者の対応について事例を挙げて述べる。

15時40分～16時50分

題目：JIS B 0001:2019 機械製図の改正点と新規の項目を概観する

講師：東京都市大学 名誉教授

平野 重雄氏

概要：設計により定められた機械の仕様や寸法、精度などは、図面で表現され技術情報として伝達される。産業界において、図面は他の何をさしおいても必要不可欠である。

しかし、製図規格が新しくなったからといってすぐに使える訳ではない。設計者の意図が製作者に理解されなくては図面とは言えない。設計者が新しい規格で描いたとしても、製作者が知らずに理解されなくては何の意味も持たない。だからこそ統一された簡易で理解し易い図面が必要になる。

製図の「人に情報を伝える」という観点から図面は見易くなければならない。形状は明確に、寸法は正確になど、主な改正部分を詳説し、さらに新規に加えられた事項・図例を基に解説を試みる。